

立憲民主党カジノ問題対策本部の設置について

安倍・菅政権によって進められたカジノを含むIR整備は、横浜市においてはカジノ反対を公約にした市長候補の当選により断念に追い込まれ、和歌山市についても県議会が計画案を否決したことにより中止された。本年4月が期限であったIR整備の認定申請期限に対し、大阪府など2府県が申請を行ったが、その大阪ではカジノの可否を問う住民投票の実施を求める署名運動が取り組まれ、6月6日に法定数を大幅に上回る20万人を超える賛同署名を選挙管理委員会に提出した。

立憲民主党は、一昨年1月に野党共同で「カジノ廃止法案」を国会に提出し、横浜での住民投票や市長選など、日本へのカジノ誘致を撤回させる国民的な運動に取り組んできた。今般、設置計画について国の判断が求められる段階となり、改めてカジノ問題対策本部を設置し、カジノ誘致に反対する地域の声をうけとめながら、党としての取り組みを推進する。

記

<カジノ問題対策本部 役員構成>

顧問	菅直人	衆議院議員
	江田憲司	衆議院議員
本部長	泉健太	代表
本部長代行	西村智奈美	幹事長
本部長代理	小川淳也	政調会長
副本部長	森山浩行	衆議院議員
事務総長	後藤祐一	衆議院議員
事務局長	桜井周	衆議院議員
事務局長代理	山岸一生	衆議院議員
オブザーバー	山田健太大阪府議、野々上愛大阪府議	

■当面の取り組み

対策本部会議 (日程調整中)

政府への申し入れ (日程調整中)